

GP7 最終戦ルール詳細（予選・決勝）

- ① 9 ボールオンフット
 - ② ブレイクボックス
 - ③ スリーポイントルール
 - ④ コールショット
 - ⑤ 交互ブレイク
 - ⑥ ラックシート使用のセルフラック（エース無効）
- ※全試合 10 ショット練習が出来る事になりました

■ラックの配置

試合は 9 ボールオンフットにて行います。

ラックの際には、9 ボールをフットスポット上に置き 2 番ボールは最後尾にセット。

■ブレイクボックス

キッチン内で、中心（ロングライン）から左右 1 ポイントずつのライン内

■スリーポイントルール

【スリーポイントルールの成功条件】

- ① ボールが 3 個以上ポケット
- ② ボールが 2 個ポケットされ、1 個以上がヘッドライン通過
- ③ ボールが 1 個ポケットされ、2 個以上がヘッドライン通過

※手球はカウントしません。

※ヘッドラインに接していたり、ヘッドライン上に止まったボールは通過とみなします。

※一度ヘッドラインを通過したものの、また出て行ったボールも通過したと判断されます。

※失敗した場合は『イリーガル・ブレイク』となり相手選手のオプションとなります

■コールショット（全ボールコール）

ジェントルマンズコールですが、キャノン・コンビ・キス・バンク等は狙うボールを明確にする為、コールして下さい。ダブルインコールはありません。また、以下の場合は相手のオプションとなります。

- ① セーフティで先球がポケットした場合
- ② ノーコール（フロック）で入った場合

■ラックシート使用時の注意

ブレイクしたプレイヤーが直後にシートを取って下さい。動かさない場合は両者の作業にて取って下さい。

■セルフラック時のエースについて

セルフラックの場合、エースは無効です。

■タイムアウトについて（1 試合に 1 回 / 5 分）

① 相手選手はテーブルの近くにいる事。一緒にテーブルを離れた場合、タイムを取った事になります。

② 相手選手は練習が出来ます。但し、タイムを取った選手がテーブルに着いた時点で速やかに終了しなければなりません。

■ショットクロック

スタート時間を運営用紙に記入して下さい。進行が遅いテーブルには運営の判断でショットクロックが入ります。1 セット 7 分を目安にして下さい。例えば、合計 5 セットの時点で 40 分を越えている場合等、早い内からタイムを入れて下さい。ショットクロックは 45 秒(30 秒でコール) です。また、エクステンションは 1 セットに 1 回とします。

■ダブルヒット無し

本大会は、2 度撞きはファウルとします。手球と的球がフローズンの場合は撞き貫くショットが可能。（この場合ドロークションを必要としない）

尚、レフリーのいないゲームでは、ファウルの可能性のあるショットの場合、対戦者は競技委員または競技委員の認めた第三者にレフリーを要請して下さい。プレイヤー同士で解決不能な判定に関しては、競技委員の判断に従って下さい。